

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5490141号
(P5490141)

(45) 発行日 平成26年5月14日(2014.5.14)

(24) 登録日 平成26年3月7日(2014.3.7)

(51) Int.Cl.

H04J 11/00 (2006.01)

F 1

H04J 11/00

Z

請求項の数 20 (全 23 頁)

(21) 出願番号 特願2011-544384 (P2011-544384)
 (86) (22) 出願日 平成22年1月7日 (2010.1.7)
 (65) 公表番号 特表2012-514891 (P2012-514891A)
 (43) 公表日 平成24年6月28日 (2012.6.28)
 (86) 國際出願番号 PCT/KR2010/000110
 (87) 國際公開番号 WO2010/079983
 (87) 國際公開日 平成22年7月15日 (2010.7.15)
 審査請求日 平成24年12月20日 (2012.12.20)
 (31) 優先権主張番号 10-2009-0001042
 (32) 優先日 平成21年1月7日 (2009.1.7)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(73) 特許権者 503447036
 サムスン エレクトロニクス カンパニー
 リミテッド
 大韓民国・443-742・キョンギード
 ・ウォンシ・ヨントンク・サムスン
 一ロ・129
 (74) 代理人 100089037
 弁理士 渡邊 隆
 (74) 代理人 100110364
 弁理士 実広 信哉
 (72) 発明者 スンユン・パク
 大韓民国・ソウル・ドンジャクグ・サダン・1-ドン・446-17・ヒュンダイ
 ・ピラート・2・チャ・#202

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】広帯域無線通信システムにおける副同期チャネルの送受信装置及び方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信システムにおける送信機が副同期チャネルを送信するための方法であって、
 送信されるシーケンスのマッピングに使用するための副搬送波を含む副搬送波集合を下記式1を利用して決定する過程と、
 前記シーケンスを送信する過程とを含むことを特徴とする方法。

【数1】

$$\text{SSCHCarrierSet}_n = n + 3 \cdot k + 40 \cdot \frac{N_{\text{SSCH}}}{144} + \lfloor \frac{2 \cdot k}{N_{\text{SSCH}}} \rfloor \quad \dots (1)$$

10

式中、SSCHCarrierSet_nは、n番目の副搬送波集合を表し、nは、セグメントIDに対応する副搬送波集合のインデックスであって、0、1又は2の値を有する。kは、各FFTのサイズに応じて0からN_{SSCH}-1までの値を有するランニングインデックス(running index)である。式中、N_{SSCH}は、副同期チャネルのために割り当てられた副搬送波の数であって、512-FFTサイズにおいて144、1024-FFTサイズにおいて288、2048-FFTサイズにおいて576の値をそれぞれ有する。

【請求項2】

セルID(ID cell)に応じて前記シーケンスを発生する過程と、

20

前記シーケンスを前記決定された副搬送波集合の副搬送波にマッピングする過程とをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記発生されたマッピングのためのシーケンスを変調する過程をさらに含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記副搬送波マッピングされたシーケンスをOFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)変調して、副同期チャネルシンボルを発生する過程と、

受信機に、前記発生された副同期チャネルシンボルを送信する過程とをさらに含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。 10

【請求項 5】

前記副搬送波集合に含まれる副搬送波のうち、DC副搬送波を間に置いている二つの副搬送波は、4個のインデックス間隔を有し、残りの副搬送波は、各々隣接した副搬送波と3個のインデックス間隔を有することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

通信システムにおける副同期チャネルを送信するための送信機であって、副搬送波を含む副搬送波集合を決定し、シーケンスを下記式 2 を利用して前記決定された副搬送波集合の副搬送波にマッピングする副搬送波マッパーと、

前記シーケンスを送信する送信ブロックとを備えることを特徴とする送信機。 20
【数 2】

$$\text{SSCHCarrierSet}_n = n + 3 \cdot k + 40 \cdot \frac{N_{\text{SSCH}}}{144} + \lfloor \frac{2 \cdot k}{N_{\text{SSCH}}} \rfloor \quad \cdots (2)$$

式中、SSCHCarrierSet_n は、n 番目の副搬送波集合を表し、n は、セグメント ID に対応する副搬送波集合のインデックスであって、0、1 又は 2 の値を有する。k は、各 FFT のサイズに応じて 0 から N_{SSCH} - 1 までの値を有するランニングインデックス (running index) である。式中、N_{SSCH} は、副同期チャネルのために割り当てられた副搬送波の数であって、512 - FFT サイズにおいて 144、1024 - FFT サイズにおいて 288、2048 - FFT サイズにおいて 576 の値をそれぞれ有する。 30

【請求項 7】

セル ID (ID_cel1) に応じてシーケンスを発生するシーケンス発生器をさらに含む請求項 6 に記載の送信機。

【請求項 8】

前記発生されたマッピングのためのシーケンスを変調する変調器をさらに備えることを特徴とする請求項 6 に記載の送信機。

【請求項 9】

前記副搬送波マッピングされたシーケンスをOFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)変調して、副同期チャネルシンボルを発生するOFDM変調器と、 40

受信機に、前記発生された副同期チャネルシンボルを送信するRF送信機とをさらに備えることを特徴とする請求項 6 に記載の送信機。

【請求項 10】

前記副搬送波集合に含まれる副搬送波のうち、DC副搬送波を間に置いている二つの副搬送波は、4個のインデックス間隔を有し、残りの副搬送波は、各々隣接した副搬送波と3個のインデックス間隔を有することを特徴とする請求項 6 に記載の送信機。

【請求項 11】

通信システムにおける受信機が副同期チャネルを受信するための方法において、 50

受信された信号からセグメントID(segment Identification)に対応する副搬送波集合の信号を抽出する過程と、

前記副搬送波集合の前記抽出された信号を復調し、セルIDに依存するシーケンスを検出する過程とを含み、

前記副搬送波集合は、下記式3を利用して決定されることを特徴とする方法。

【数3】

$$SSCHCarrierSet_n = n + 3 \cdot k + 40 \cdot \frac{N_{SSCH}}{144} + \lfloor \frac{2 \cdot k}{N_{SSCH}} \rfloor \quad \dots (3)$$

10

式中、SSCHCarrierSet_nは、n番目の副搬送波集合を表し、nは、セグメントIDに対応する副搬送波集合のインデックスであって、0、1又は2の値を有する。kは、各FFTのサイズに応じて0からN_{SSCH}-1までの値を有するランニングインデックス(running index)である。式中、N_{SSCH}は、副同期チャネルのために割り当てられた副搬送波の数であって、512-FFTサイズにおいて144、1024-FFTサイズにおいて288、2048-FFTサイズにおいて576の値をそれぞれ有する。

【請求項12】

フレーム内の定められた領域において副同期チャネル(S-SCCH)の前記信号を受信する過程と、

20

前記受信された信号をOFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)復調する過程と、

セグメント単位に受信電力を測定し、前記セグメントIDを獲得する過程とをさらに含む請求項11に記載の方法。

【請求項13】

前記副搬送波集合に含まれる副搬送波のうち、DC副搬送波の介在している2つの副搬送波は4つのインデックス間隔を有し、残りの副搬送波は、各々隣接した副搬送波と3つのインデックス間隔を有することを特徴とする請求項11に記載の方法。

【請求項14】

前記復調によって検出された前記シーケンスとメモリテーブルの全てのシーケンスとの間の相関値を決定する過程と、

30

最大の相関値を有するシーケンスに対応するランニングインデックス(idx)を決定する過程とさらに含む請求項11に記載の方法。

【請求項15】

獲得された前記セグメントID及びランニングインデックス(idx)を利用してセルIDを決定する過程をさらに含む請求項14に記載の方法。

【請求項16】

通信システムにおける副同期チャネルを受信するための受信機において、受信された信号からセグメントID(segment Identification)に対応する副搬送波集合の信号を抽出する副搬送波抽出機と、

40

前記副搬送波集合の前記抽出された信号を復調し、セルIDに依存するシーケンスを検出する復調機とを含み、

前記副搬送波集合は、下記式4を利用して決定されることを特徴とする受信機。

【数4】

$$SSCHCarrierSet_n = n + 3 \cdot k + 40 \cdot \frac{N_{SSCH}}{144} + \lfloor \frac{2 \cdot k}{N_{SSCH}} \rfloor \quad \dots (4)$$

式中、SSCHCarrierSet_nは、n番目の副搬送波集合を表し、nは、セグメントIDに対応する副搬送波集合のインデックスであって、0、1又は2の値を有する

50

。kは、各FFTのサイズに応じて0から $N_{S S C H}$ -1までの値を有するランニングインデックス(*running index*)である。式中、 $N_{S S C H}$ は、副同期チャネルのために割り当てられた副搬送波の数であって、512-FFTサイズにおいて144、1024-FFTサイズにおいて288、2048-FFTサイズにおいて576の値をそれぞれ有する。

【請求項17】

フレーム内の定められた領域において副同期チャネル(*S-SCH*)の前記信号を受信する無線周波数(*RF*)受信機と、

前記受信された信号をOFDM(*Orthogonal Frequency Division Multipleading*)復調するOFDM復調機とをさらに含み、

前記副搬送波抽出機はセグメント単位に受信電力を測定し、前記セグメントIDを獲得する請求項16に記載の受信機。

【請求項18】

前記副搬送波集合に含まれる副搬送波のうち、DC副搬送波を介在している2つの副搬送波は4つのインデックス間隔を有し、残りの副搬送波は、各々隣接した副搬送波と3つのインデックス間隔を有することを特徴とする請求項16に記載の受信機。

【請求項19】

前記復調によって検出された前記シーケンスとメモリテーブルの全てのシーケンスとの間の相関値を決定し、最大の相関値を有するシーケンスに対応するランニングインデックス(*idx*)を決定するシーケンス復調機をさらに含む請求項16に記載の受信機。

【請求項20】

前記シーケンス復調機は、獲得された前記セグメントID及びランニングインデックス(*idx*)を利用してセルIDを決定する請求項19に記載の受信機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、広帯域無線通信システムの同期チャネルに関し、特にIEEE 802.16m無線通信システムにおけるセルID(*ID cell*)を区分するための副同期チャネル(*Secondary Synchronization Channel : S-SCH*)を送受信するための装置及び方法に関する。

【背景技術】

【0002】

現在、高速の移動通信のために多くの無線通信技術が候補として提案されており、そのうち、直交周波数分割多重化(*Orthogonal Frequency Division Multipleading*:以下、OFDMとする)技術は、現在最も有力な次世代無線通信技術として認められている。今後、大部分の無線通信技術では、前記OFDM技術が使用されることと予想されており、現在3.5世帯技術と呼ばれるIEEE 802.16系のWMAN(*Wireless Metropolitan Area Network*)でも前記OFDM技術を標準規格として採択している。

【0003】

前記OFDM方式は、多重搬送波(*Multi-Carrier*)を使用してデータを送信する方式である。すなわち、直列に入力されるシンボル(*Symbol*)列を並列変換して、これらの各々を相互直交性を有する多数の副搬送波(*sub-carrier*)、すなわち多数の副チャネル(*sub-channel*)に変調して送信する多重搬送波変調(*Multi Carrier Modulation : MCM*)方式の一種である。

【0004】

前記OFDM方式を使用するシステムにおいて、基地局は、時間同期(*timing synchronization*)と基地局区分のために、同期チャネル(*Synchronization Channel : S-SCH*とする)を端末に送信する。これに

10

20

30

40

50

より、端末は、前記 S C H を利用して自身が属している基地局を区分できる。前記 S C H が送信される位置は、送信機と受信機との間に予め規約されている。結果的に、前記 S C H は、一種の基準信号 (reference signal) として動作するようになる。

【 0 0 0 5 】

前記 S C H の設計方法として多様な方法が使用されうるが、現在、最も注目されている方法は、周波数領域で一定の間隔をおいて基地局固有の P R (Pseudo Random) シーケンス (sequence) を副搬送波に載せて送信する方法である。すべての副搬送波にシーケンスを載せて送信せずに一定の間隔でシーケンスをマッピングする場合、I F F T (Inverse Fast Fourier Transform) 演算後の時間領域信号を述べると、O F D M シンボル内で一定パターンの繰り返しが起きることを確認することができる。このとき、繰り返し回数は、周波数領域のシーケンスマッピング間隔によって変わること。

【 0 0 0 6 】

すると、従来の I E E E 8 0 2 . 1 6 e システムにおいて使用される S C H を述べることにする。

【 0 0 0 7 】

図 1 は、従来技術の S C H の周波数領域信号を示す図である。

【 0 0 0 8 】

前記図 1 に示すように、従来の S C H は、周波数領域において 3 個の副搬送波間隔ごとにシーケンス値が割り当てられる。

【 0 0 0 9 】

このとき、前記図 1 に対応する S C H の時間領域信号は、図 2 に示すとおりである。前記図 2 に示すように、従来の S C H は、時間領域で同じ信号が 3 回繰り返される形態を有する。端末は、前記 S C H の繰り返しパターンを利用して時間同期を獲得する。このとき、I F F T のサイズは、2 の乗数 (power of 2) であるが、3 (繰り返し回数) は、I F F T のサイズの約数ではないので、3 回繰り返しパターンは、完全な繰り返しパターンでなく不完全な繰り返しパターンになる。したがって、端末が基地局セルの境界 (cell boundary, cell edge) にある場合、隣接セルの S C H が干渉として作用して 3 回繰り返しパターンが崩れるという問題が発生して、時間同期の遂行に困難さがある。

【 0 0 1 0 】

また、従来の S C H は、一つの S C H に割り当てられた副搬送波個数と同じ長さのシーケンスが使用される。従来の I E E E 8 0 2 . 1 6 e システムの場合、計 1 1 4 個の基地局を区分するために、1 1 4 個のシーケンスが使用され、I F F T の長さが 1 0 2 4 であるときを例に挙げれば、各々のシーケンスの長さは、一つの S C H に割り当てられた副搬送波の個数 2 8 4 と同一である。このとき、端末は、受信された S C H 信号と予め有している 1 1 4 個のシーケンスとの相関値を計算して、セル I D (ID cell) を獲得するようになる。

【 0 0 1 1 】

従来の I E E E 8 0 2 . 1 6 e システムから進化したシステムである I E E E 8 0 2 . 1 6 m システムは、フェムトセル (femtocell) を支援するために、前記従来の I E E E 8 0 2 . 1 6 e システムよりさらに多くの個数のセル I D を必要とする。セル I D を送信するための S C H シンボルのシーケンスの個数もセル I D の個数に比例して増加するようになり、このとき、一般にシーケンス間の相関特性が悪くなるようになって、セル I D の検出性能が低下し、またシーケンスのピーク対平均電力比 (Peak to Average Power Ratio: 以下、P A P R と称する) が増加するようになって、S C H の送信電力をブーストできるマージン (margin) が減るようになる。

【 0 0 1 2 】

10

20

30

40

50

また、IEEE 802.16mシステムでは、SCHがセルID情報以外の他の付加情報を含んで送信することが要求されることもできる。このような付加情報の例としては、基地局種類、セクター、セグメント情報、FFTのサイズ、又はシステム帯域幅などになりうる。

【0013】

従来のIEEE 802.16eシステムに比べて増加したセルIDの個数と、付加情報送信などの追加的な要求事項を充足させるために、IEEE 802.16mシステムのSCHは、互いに異なる2種類のシンボル、すなわち主同期チャネル(Primary SCH:以下、P-SCHとする)と副同期チャネル(Secondary SCH:以下、S-SCHとする)を使用する。このとき、従来のIEEE 802.16e SCHの機能とIEEE 802.16m SCHとS-SCHとが分けて行わなければならない。そのため、IEEE 802.16m P-SCHとS-SCHとS-SCHがそれぞれ行わなければならない機能が新しく定義される必要がある。また、IEEE 802.16m P-SCHとS-SCHの各々のシーケンスと副搬送波マッピング方法などが定義されなければならない。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0014】

そこで、本発明の目的は、広帯域無線通信システムにおけるセルID区分が可能なS-SCHを送受信するための装置及び方法を提供することにある。

【0015】

本発明の他の目的は、IEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHのシーケンスと副搬送波マッピング方法を定義することにある。

【0016】

本発明のさらに他の目的は、IEEE 802.16m無線通信システムにおいて送信機がセルIDに応じてシーケンスを発生してS-SCHを生成及び送信し、受信機が前記S-SCHを受信して前記シーケンスを検出するための装置及び方法を提供することにある。

【0017】

本発明のさらに他の目的は、IEEE 802.16m無線通信システムにおいてFFTのサイズとセグメントID(segment ID)とに基づいて、シーケンスをマッピングする副搬送波を含む副搬送波集合を決定するための装置及び方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0018】

上記の目的を達成すべく、本発明の第1見地によれば、通信システムにおける送信機が副同期チャネルを送信するための方法は、セルID(ID cell)に応じてシーケンスを発生する過程と、FFTのサイズとセグメントID(segment ID)とに基づいて、前記発生されたシーケンスをマッピングする副搬送波を含む副搬送波集合を決定する過程と、前記発生されたシーケンスを前記決定された副搬送波集合の副搬送波にマッピングする過程とを含むことを特徴とする。

【0019】

本発明の他の見地によれば、通信システムにおける副同期チャネルを送信するための送信機は、セルID(ID cell)に応じてシーケンスを発生するシーケンス発生器と、FFTのサイズとセグメントID(segment ID)とに基づいて、前記発生されたシーケンスをマッピングする副搬送波を含む副搬送波集合を決定し、前記発生されたシーケンスを前記決定された副搬送波集合の副搬送波にマッピングする副搬送波マッパーとを備えることを特徴とする。

【図面の簡単な説明】

【0020】

10

20

30

40

50

【図1】従来技術のSCHの周波数領域信号を示す図である。

【図2】従来技術のSCHの時間領域信号を示す図である。

【図3】本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムの基地局と端末とを示す図である。

【図4】本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16mフレーム構造におけるP-SCHとS-SCHの位置を示す図である。

【図5】本発明の実施の形態に係る512-FFTでの副搬送波集合を示す図である。

【図6】本発明の実施の形態に係る1024-FFTでの副搬送波集合を示す図である。

【図7】本発明の実施の形態に係る2048-FFTでの副搬送波集合を示す図である。

【図8】本発明の実施の形態に係るFFTのサイズに応じて各シーケンスブロックの周波数領域での配置を示す図である。 10

【図9】本発明の実施の形態に係るFFTのサイズ別にセルIDに対応するS-SCH信号のPAPRを示す図である。

【図10】本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHを送信するための送信機の構成を示すブロック図である。 20

【図11】本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHを受信するための受信機の構成を示すブロック図である。

【図12】本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHを送信するための手順を示すフローチャートである。 20

【図13】本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHを受信するための手順を示すフローチャートである。 20

【発明を実施するための形態】

【0021】

以下、本発明の好ましい実施の形態を、添付された図面を参照して詳細に説明する。そして、本発明を説明するに当たって、関連した公知機能あるいは構成についての具体的な説明が本発明の要旨を不明にするおそれがあると判断された場合には、その詳細な説明を省略する。

【0022】

以下、本発明は、OFDMA方式を使用するIEEE 802.16m無線通信システムにおけるセルIDを区分するためのS-SCHを生成及び送受信するための方案を提案する。 30

【0023】

まず、IEEE 802.16m無線通信システムの構造とS-SCHの機能を提案する。

【0024】

図3は、本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムの基地局と端末を示す図である。

【0025】

前記図3に示すように、IEEE 802.16m端末300とIEEE 802.16m基地局310とが通信を行うためには、IEEE 802.16m基地局310が送信したS-SCH信号を介してIEEE 802.16m端末300がIEEE 802.16m基地局310のセルID(Cell ID)を獲得しなければならない。このとき、セルIDは、セグメントIDを含む。 40

【0026】

図4は、本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16mフレーム構造におけるP-SCHとS-SCHの位置を示す図である。

【0027】

前記図4に示すように、IEEE 802.16mフレーム構造においてスーパーフレーム(Super-Frame)は、20msの時間インターバル(Interval)を有し、5ms時間インターバルを有する4個のフレーム(Frame)から構成される。 50

成される。前記図4は、1個のスーパーフレーム内に1個のP-SCHシンボルと3個のS-SCHシンボルがそれぞれ5 msecの間隔で位置する場合を例示する。このとき、P-SCHシンボルは、スーパーフレームヘッダ(Super-Frame Header: SFH)内に位置する。ここで、P-SCHシンボルとS-SCHシンボルの個数及び位置が変わっても、本発明の提案が同様に適用されうることはもちろんである。

【0028】

次に、本発明に係る各セグメントIDに対応する副搬送波集合を決定する方法を述べる。

【0029】

本発明においてS-SCHのためのシーケンスの長さ N_{SSCH} は、FFTのサイズによって変わる。S-SCHのためのシーケンスの長さ N_{SSCH} は、それぞれ512-FFTにおいて144、1024-FFTにおいて288、2048-FFTにおいて576である。このとき、各セグメントIDに対応する副搬送波集合は、下記式1によって決定される。

【0030】

【数1】

$$SSCHCarrierSet_n = n + 3 \cdot k + 40 \cdot \frac{N_{SSCH}}{144} + \left\lfloor \frac{2 \cdot k}{N_{SSCH}} \right\rfloor \quad \dots (1)$$

10

20

【0031】

式中、 $SSCHCarrierSet_n$ は、n番目の副搬送波集合を表し、nは、セグメントID(segment ID)に対応する副搬送波集合のインデックスであって、0、1又は2の値を有する。すべて3個のセグメントが存在し、それぞれのセグメントをSegment 0、Segment 1、Segment 2とするとき、Segment 0は、副搬送波集合 $SSCHCarrierSet_0$ を使用し、Segment 1は、副搬送波集合 $SSCHCarrierSet_1$ を使用し、Segment 2は、副搬送波集合 $SSCHCarrierSet_2$ を使用する。kは、FFTのサイズによって0から $N_{SSCH}-1$ までの値を有するランニングインデックス(running index)である。前記各副搬送波集合においてDC副搬送波の位置は、各々512-FFTにおいて256、1024-FFTにおいて512、2048-FFTにおいて1024である。

30

【0032】

図5、図6及び図7は、それぞれ本発明の実施の形態に係る512-FFT、1024-FFT、2048-FFTにおける各セグメントIDに対応する副搬送波集合を示す図である。

【0033】

前記図5、図6及び図7において、各セグメントに対応する副搬送波集合は、DC副搬送波の左側領域と右側領域では、それぞれ3個の間隔を有する副搬送波から構成されており、DC副搬送波の近くでは、4個の間隔を有する副搬送波から構成される。前記図5を例に挙げて詳細に説明すると、512-FFTにおいてSegment 0に使用される副搬送波集合 $SSCHCarrierSet_0$ の副搬送波インデックスは、40、43、46、49、…、247、250、253、257、260、263、…、464、467、470である。すなわち、DC副搬送波インデックス256を中心にそれぞれ左側と右側領域では、インデックスが3ずつ増加する副搬送波から構成され、DC副搬送波を基準に副搬送波インデックス253と副搬送波インデックス257との間隔は4である。

40

【0034】

前記説明したように、副搬送波集合を決定すると、時間領域で従来IEEE 802.16e SCHのような3回繰り返しパターンが現れないようになる。このような特徴は、IEEE 802.16m基地局がIEEE 802.16e端末とIEEE 802

50

. 16m端末とをすべて支援する共存モードにおいて、時間領域で3回繰り返しパターンが現れるシンボルが一種類のみが存在するようになって、各端末が時間同期を容易に獲得できるという利点がある。

【0035】

次に、本発明に係るセルIDに対応するシーケンスを決定する方法を提案する。

【0036】

本発明では、全部768個のセルIDを使用することを提案する。このとき、セルID(ID_{ceil})の値は、0から767までであり、下記の式2のようにセグメントID_nとランニングインデックスID_xによって決定される。ここで、前記セグメントID_nは、0、1又は2の値を有し、前記ランニングインデックスID_xは、0から255までの値を有する。
10

【0037】

【数2】

$$ID_{cell} = 256 \cdot n + Idx \quad \dots (2)$$

【0038】

前記式2によって決定されたセルIDに対応するS-SCHシーケンスは、8個のシーケンスブロックS₀、S₁、…、S₇を利用して構成される。このとき、各シーケンスブロックS₀、S₁、…、S₇に含まれたシーケンスの長さは72である。
20

【0039】

図8は、本発明の実施の形態に係るFFTのサイズに応じて各シーケンスブロックの周波数領域での配置を示す図である。

【0040】

前記図8に示すように、512-FFTの場合には、シーケンスブロックS₀とS₁からランニングインデックスID_xに対応するシーケンスが順次選択され、前記順次選択されたシーケンスがパワーブーストされたBPSK(Binary Phase Shift Keying)信号に変調されて、セグメントID_nに対応する副搬送波集合に順にマッピングされる。1024-FFTの場合には、シーケンスブロックS₂、S₀、S₁及びS₃からランニングインデックスID_xに対応するシーケンスが順次選択され、前記順次選択されたシーケンスがパワーブーストされたBPSK信号に変調され、セグメントID_nに対応する副搬送波集合に順にマッピングされる。2048-FFTの場合には、シーケンスブロックS₄、S₅、S₂、S₀、S₁、S₃、S₆、及びS₇からランニングインデックスID_xに対応するシーケンスが順次選択され、前記順次選択されたシーケンスがパワーブーストされたBPSK信号に変調され、セグメントID_nに対応する副搬送波集合に順にマッピングされる。前記図8のように、S-SCH信号が周波数帯域幅に応じて重なる構造をスケーラブル(scalable)構造とする。このようにS-SCH信号が多様なFFTのサイズに対してスケーラブル(scalable)な特徴を有するシーケンスから構成されるから、S-SCHがそれぞれ異なる帯域幅を支援する多様な端末を支援できるという長所がある。
30
40

【0041】

下記の表1は、各シーケンスブロック別にランニングインデックスID_xに該当するシーケンスの例を16進数(hexadecimal)で表したものである。各シーケンスの長さは72である。

【0042】

【表 1 A】

<i>Idx</i>	<i>S₀</i>	<i>S₁</i>	<i>S₂</i>	<i>S₃</i>
0	602CFC3499A4B346A1	D6D04E0C95CCE7C60F	60C5F82E201678AF4D	54AF23D77D49C9209F
1	19F90B577AF31B289D	EEF8AEBA56D7832F09	781F066BACDD3A90F3	5DBB49C352F7DCC37B
2	58041C83A54037A858	CE154FB719785A01B1	69CE6DC40FD792B4A9	564E5B7C86A3C9863E
3	21CE141FB9E8603E64	F62250FE25E3211748	71149381831CD08CE8	5F45CE97569DC39A25
4	78E9FD8EEA900E86E0	DFC423E6BA72EDDDEB	6224877A240387F613	54FA5BD629497C7895
5	013C0AED09B846E8DC	E7F33CAF86966934ED	7AE186C1A8B725CE52	5DF1C9C206F7766371
6	40DEE539D674959019	C71EDA5D36B9B01DAA	6B2F156FF4426DED7	5604DB7C2D5C832634
7	3914EA5BCADCC20625	FF29C515F5A2CB0CAC	73F5ECD478F6CFD249	5F0F4E97FD6296C5D0
8	69389621499AB95ABA	D43131596E590760AE	608F7FD174692DF747	54B0F17DD6C9D6D5CA
9	10ED66BCAACD0ECB79	EC062E1052BD838E57	7855819507226FCF06	5DA49C96068823362E
10	510F8E978AFE224BBC	CCEBC8E31D125AA0EF	6984EDC4A45727ECA3	565189D7D2DC298C94
11	28C581F469D66A227F	F4C32FABDE76DE49E9	715E1380D71C65D31D	5F5A1C3C029DDC6F70
12	71FD9064C52E049AFB	DD255B4CBE670D7CB5	626E077A8F832D5619	54E5897D7D36838DC0
13	083798F8D9864CF338	E50DBC0582838995B3	7AAB013F0348709658	5DF1E3695288899624
14	49CA88D3F9B57F8C02	C5FFA2F6CD53B0BCF4	6B7A6A90A042C74A02	561B09D77923632C9E
15	300087B01A9D281DC1	FDD74241F1C8D455F2	73BF6CD52C898575BC	5F109C3CA91D69377A
16	62D27C9F624EB3E000	D69ACE0C3E33AD6605	60DA2A848BE998A218	54AF23D77C63638DCA
17	1B078BFC81190471C3	EEADD6BAFD28D67703	7800D33EF8A2C56259	5DBB49C2AC229669D1
18	5AE564285EAA28F106	CE5FC849B2F8F0A1BB	69D1B890A4286D41FC	5651A48287F69CD36B
19	233094B5BDFD809F3A	F67728F8E1C7448BD	710B46D528E3308642	5F45CE96A83776CF70
20	7A0882DB117A11DFBE	DF8EA3E6118DA77A1E	6224AA2E8F83980346	54FA5C29D7E3D6D23F
21	03DD75B90DD2464982	E7A644AED296DC6C87	7AF653950348DA3CP8	5DF1CE3DF85DC331DB
22	4220626C2D9E953147	C74BA25D9D46FABDA0	6B2F383AA03D921F5D	561B24822C09D67361
23	3BEA6D0E31493D5884	FF634514A1DD81AB59	73F5C67ED376CFD8E3	5F0F496803C823977A
24	6BC611754D8F46041B	D47BB6A63A26523F5B	608F557A20692DFDED	54AF0E8228637C789F
25	120C19E951271195D8	EC5351EEF942D6D1A2	7855AB3E53226FC5AC	5DA49B6807A2966484
26	53EEF63D8E943D151D	CCBEB71C4912F0071A	699B38900FA8C7E1F6	564E76282C0963263E
27	2A3B015E6DBC6A8321	F489A8548A098B161C	7141C6D47CE385D9B7	5F5A1BC203B7693DDA
28	731CE8CEC144043C5A	DD70234C159847DB40	626E2DD1DBFCCD5B4C	54FA717C83E3C92095
29	0AD6E7ACDDEC4C5599	B5473BFB29033CCDB9	7AB4D395A8B7909CF2	5DF1E49753A23CC371
30	4B2BF78602209F2AA3	C5AADAF666D31A1B01	6B7A47C40BC2C740A8	5604F6288789C98634
31	32E1FF1A1E88C8BB60	FD9DC5BF5A48610DF8	73BF418078F6657F16	5F109BC357B7C39DD0
32	60798435CDBBF9E154	D6D064A63E4CF8335A	60C5F82E2143320218	2D652B4A9E61814EA3
33	19AC73562E8C4E7768	EEF883EEFD578325A3	781F066A5277903A59	247146A14E206B52B8
34	585164830EC082F7AD	CE0A9D1C4D07A5F31B	69CE6A3A0EFD27E603	2F8453E09A0B9E1002
35	2184941F12172A9991	F63D85AA8E633EE5E2	710B6B807DB67A2642	269039F4B5CA6BF3E6
36	78A37A70416F5BD915	DFDBF14C118D122F41	623B7884252932A4B9	2D30534BCA613416A9
37	01768AEDA238F3B0D6	E7F316052D69893E47	7AF6793FA99D909CF8	243BC15FE5A0C1F54D

10

20

30

40

【表 1 B】

38	408B9D397D8BC0C813	C71EF70862B9B01700	6B30EA900AE8D8BF5D	2FCED3E031F4D4B008
39	395E6A5B612388A1D0	FF3610415E22D4FE06	73EA132B865C6578E3	26DAB9F5E1CAC153EC
40	696DEE21E21A13FD4F	D4311C0C3A591895FB	608F782F754398A5ED	2D7AFE1FCA618143F6
41	10A7E6BDFEB2446B73	EC19FCBAF9427C7B02	7855866B06772565AC	246F940A1A2074A7ED
42	515AF168DEFE88EC49	CCEBE5B7B6EDBAAA45	6984EDC4A50272BE09	2F9B814A31F47E1AA8
43	288F01F4C2293F7D8A	F4C305008A76C1BB43	715E147ED636CF7E48	2690135E1E4A74014C
44	71B710646EAE81C2F1	DD25761815E7128E1F	6271FF7B712987FCB3	2D3079E09E612BE403
45	087D18F98D86F9AB32	E5126EAF297C766719	7AB4FEC0FD9D25C30D	2424140AB1DF3E0018
46	499FF72CADC5D52BF7	C5E0705C66D3AF4E5E	6B7A6A90A1178DE0A8	2FD106B49A74D4BAA2
47	304A07B0B11D82BDCB	FDD76F14A5B7345F58	73A0932AD25CCFD8E9	26DA935EB5CADEA6B9
48	62870361C9CE1947F5	D6851B596A33B29350	60C5D57A8AC3320F4D	2D7AD34B60CB341BF6
49	1B4DOC03D5664ED636	EEB203EE56A8D67A56	7800D33EF9F78FCF0C	246EB95EB08AC1F812
50	5AB01BD70AAA9DA90C	CE401D1D190710AB11	69D1BF6EA502C7EB56	2F84541E9B212B4557
51	2365EB4B1602CA3F30	F668FA54259C744217	710B412B29B67A2CE8	26903E0B4B1F3EA14C
52	7A420524457ABB784B	DF8E8EB345F24770B4	623B522E8EA932A9EC	2D3054B5CB346143FC
53	0397F24659AD0CEE77	E7A66E0586E93C61B2	7AFE539502626F6E52	243RC15FE48A74A018
54	426AE26C861E20694D	C74B88F6C946FAB70A	6B2F3FC55E9738B208	2FCED3E030A19E1AA2
55	3BBF150F654997F88E	FF6368400A2261A60C	73F5C67F2DDC6575B6	26DAB9F41F606BF946
56	6B8C9175E60FF35C11	D464640D6E59ADCDF1	6090AD7A2143875747	2D6501E034CB3416A3
57	12469E17FAA7BB35D2	EC4C84BA52BD292308	784A533E52773A90F9	246E93F5E48AC1F2B8
58	53BB89C3256B684AE8	CCBE9A48E2ED0FF5R0	6984C76FF17D92B35C	2F84794A30A12B4802
59	2A7186A139BCDFDB2B	F48982FE21F674E4B6	715E392A7DB6D08B1D	268FECA01F1F215419
60	73499731953B4E9BAF	DD6FF61941E7A7D1EA	6271D5D1DAD667F619	2D2F81E160CB9EB156
61	0A839FAD89FCF90A6C	E54716AF82FCDC713	7AB4D46BA99D25CE58	242413F4B0F58B52B2
62	4B6170795620358D56	C5B5085CCD2CE5E9AB	6B7A47C5F5178DEA02	2FD1014B64DE61EFF7
63	32AB78E4B5779DE495	FD8217140E48610752	73A0BE7E79A32FD243	26C56CA14B1F8BF3EC
64	60332E9FCDBB534C0B	D6D04E0C94E64D6B5A	190FF0B3C341D0C171	6C87C49FBE2D623199
65	19F926022EF31B25C8	EEF8AEBAB5782D67A5C	01CAF109B00A8D06CF	658C51746E13582A7D
66	58043628F13FC85AF2	CE154FB6E7D2FOAB1B	101B9D59EC80252295	6E66BBCA45B8B290C7
67	21D1C14AEDE87FCB31	F63DA8FE24C98BBDE2	08C1631D9FB4871D2B	6772D6206A79477323
68	78E9D0DA41100E8BB5	DFC423E744D8588F41	1BEE8FE638ABC982F	6CD2BC9F15D218966C
69	013C2047A238591A76	E7ECC3507843239E47	033471A24BE08DA791	65D92E8AC5EC128A77
70	40DEC86D7D8B759D4C	C70125A2C8131AB700	12E51DF2176A3A7BCB	6E2C3C34EE3807CF32
71	3914C0F1615CDDF48F	FF29C515F48861A1F9	0A3FE3B6642178438A	6727AE213E06122CD6
72	6938BB741DE55957EF	D42EC9596F73B23204	194570B297417A617B	6C87EE3515AD4DC333
73	10ED4BE9FEB2EEC62C	EC19D1EFAC172924FD	018071091BF5D8593A	659383DEC59347DF28
74	51105BC3217E224116	CCEBC8E2E3C7100A45	104EE55947008F8560	6E796E9F11B8B29D92
75	28DA535EC2298A28D5	F4DCD05420DC74E343	088BE31CCBCBCDBD21	6772FC8AC1F9588676
76	71FDDBD319151E497AE	DD3AA4B2BF32582E1F	1BA40FE76CD4853825	6CCD6E35BE520764C6

10

20

30

40

【表 1 C】

77	08284A538D8653066D	E51243FA7C29233F19	03610E5D1FE027079B	65C6FBDF9193F280DD
78	49CAA58752357F86A8	C5FFA508CC06E6E9A1	12B065F2BCEA90DC3E	6E33E961BA47E7C598
79	301F52E54EE2C81094	FDD74241FOE2610758	0A7563B7305E32E47F	67387B7595F9F2267C
80	62D251CA36314C12AA	D69ACE0C3F66E7CCAF	191025E768C1D0CBDB	6C87C49FBF78189CCC
81	1B07A6A9D519047C96	EEB22944FC027CDA56	01CAD5D1BF572F465	6593A97590C60D7F28
82	5AE5497CF555C8FBAC	CE5FCFB64C2DA5F311	10044FF2B8FFC52FC0	6E79443444EDE7C26D
83	2330B9E1167D9F6A6F	F668D0FE8F49211A17	08C149B6CBB487107E	6772D62194D3F22189
84	7A08A871BAFA0E2D14	DF915BE610A70DD0B4	1BF15D4C9354306D7A	6CD2BC9F1487523CC6
85	03C2A713A65259BCD7	E7B9BB512C4396C1B2	03345CF71FE092553B	65C6D68B3B3947DF22
86	422048C7799E8AC3ED	C7545A5D9C6C4FEFOA	12FAC8A7436A258961	6E2C3C34EF12AD6267
87	3BF5B85B65493D522E	FF6342EB5F7734FE0C	0A3FCEE2CFDE984920	673856213F2CA77E7C
88	6BD9C3DE19F0B9F14E	D4644EA7C4F318920E	195AA5E63CBE9A6C2E	6C981634EB07F89199
89	120C34BDFAD8EE608D	EC4CA9EEF8179C7CF7	019FA3A3B075D85390	659383DEC4C6128A7D
90	53FI249725143D1FB7	CCA148E3B7B84555B0	104EC80DEC808F8FCA	6E79696110EDE7CF38
91	2A24D40AC643957674	F489AFAB74A321BCB6	088BCE4860342DB074	676D048B3F2C0DD4DC
92	73033A65953BE4310F	DD6FDB4C14B2F289EA	1BBBBDAB3C72B7ACA8F	6CCD6E3440F8B23193
93	0AD6CD078993AC58CC	E5473C04D7D6699F13	037EDB084B9FC70ACE	65C6FBDF90B9582D88
94	4B34252CA9DF7F27F6	C5AADD0867F9AF4E54	12B04F58176A8F2E94	6E2C1161BB12B290CD
95	32FE2DB0B508C8B1CA	FD823DBEA4E2D458AD	0A75491C645E32E92A	6727837594ACA774D6
96	6079A961662419EC01	D6D064A63F664D660F	190FF74C3DEB659424	154DCBFC5D7AE5A05A
97	19AC5E028573AE7A3D	EEF883EEFC7D3670F6	01D50EF7B15FD8539A	1C59A6178D3B104441
98	584EB629A53F62FD07	CE0A9D1DB3D2EF59B1	101B9AA7EDAA8F8FC0	17ACB4A9A690E50104
99	219B414A4617356CC4	F63D825570B67448B7	08DE9B1D9E9E32487E	1EA726BC76D10F1AE0
100	78BCAF24EA90BBD3BF	DFC40EB210A7B88214	1BF17019C67E9ACD7A	1518B402F6FA50FFAF
101	0176A7B909B8F3BD83	E7ECE9FB2C432394ED	032B8E5C4B5D8F2C4	1C13261726BBA51BB4
102	4094486DD6743F3AB9	C71EF0F663ECE545AA	12FAE20C164090D161	17E63356F290505EF1
103	395E470FCADC68AC85	FF3610415F0861AB53	0A3FE448650BD2EEDF	1EEDA6BCDD2E5A4515
104	696DC374B61A13F7E5	D42EE40DC4F3ADCOAE	195A8F4C96142F33D1	154DE157097AE5AAFO
105	10A7CC17554DA46626	EC0604BB0797292E57	018076F6E5208D0B90	1C46734326BB104EEB
106	515ADC3D8AFE88E11C	CCEBE5B7B8EFF10	10511AA7462A3AD7CA	17B361FD0D6F1AF451
107	2890D4A069A93F70DF	F4C302FE8B238B11E9	088BE31CCA167178B	1EA70BE8DD2EEF104A
108	71A8C2CEC5514E305B	DD25761814CDB824B5	1BA40FE6927E2F9570	151899565D7A4F0D05
109	0862CA52D9F919A198	E50D96AED7A93CCA4C	03610E5D1EB56DAACE	1C130B438D445AEEE1
110	499FDD860635CADEA2	C5FF8FA398791A1B0B	12AF9A0CBDBFC58E94	17E619FDA6EFB0545B
111	304A2AE5E5627D489E	FDD76F14A49D9EF20D	0A6A9C49317487B12A	1EED8C17892E45B7BF
112	6298D1CB624E194D5F	D6851CA76B1907C1FA	19102218966B7A668E	154DCBFDA3AFB0F2F0
113	1B52DEA8816651249C	EEADFBF8A8027CDOFC	01CAD5D1ADFD85930	1C4659E87391A516EB
114	5AB0317C5ED57DA3A6	CE5FE2E3182DBA01BB	101BB7F2B9AA907D6A	17B34CA8583A5053AE
115	237A39E1BDFD35CD9A	F668FA5424B6DEE8BD	08DEB1B7351E32452B	1EA726BC77845A4FB5

10

20

30

40

【表 1 D】

116	7A422F8EEE855B751E	DF9176B344D8F225E1	1BF15D4C920165382F	1518B4030850E5AD05
117	0397DF130DD2ECE4DD	E7B991FA78438934E7	03345B091EB5C7006E	1C0CD9E92791104EE1
118	42753739D21E206418	C74B88F6C813AFE25F	12FACF59424090DBC8	17E634A8F3C51AF45B
119	3BA0C7A5CEC9880DDB	FF7C97BE0B08D4F4A6	0A2036E3310BCD1B8A	1EF25942DC7B0F1040
120	6B8CBC20B2700CA944	D464640D6F0CF898A4	195AA2183DEBD0C684	15521EA8F7AFB0FFA5
121	12594B42AE7BB3F78	EC4C84BBAC178389A2	01805C5C4EDF6D06C5	1C598842D811BAE441
122	53A45C978E94884042	CCBE9DB71C47BAA0E5	104EC80DEDAA25229F	17B366030C45B05904
123	2A71AC0A6DC33FD67E	F48982FFDF2321B1E3	089431B66161671D21	1EB8F416DC7BA5BAE0
124	73564264C13B4E96FA	DD7009E6BF4D0D7CBF	1BA422B3C67E2F9825	151899565C50FA5850
125	0A9C4D06DDEC900C6	E54716AF83A9899246	037EDCF64AB56DA79B	1C130B438C111043B4
126	4B615AD202202A7FFC	C5AAF05D33F9AF44FE	12AFB0A7E9C03A7BC1	17E619FDA7BAFAF90E
127	32B4AA4FB1086211C0	FD9DE8EA0F1D3455F8	0A754EE2650B67BB80	1EED8BE98804F0E515
128	602CFBCB6771F9EBF4	AF1A4691769B5057CC	58F2E766E372FC464B	4C75DD92F1FD74E0DE
129	19F90CA88459AE7DC8	972D59D84A7FCB4135	4028192290464181F5	4561B07921BC9EFB3A
130	58041B7C5B9562FAF2	B7C0B8D505D0126872	51E68A8D333309A5AF	4E8B5D38F5E8944180
131	21CE13E0473D356B31	8FE85F9DC6CB697974	49238CC940784B9A11	4780C8D325D69E5D9B
132	78F60270EB8AA42C4A	A611D37AA6DABA4BD7	5A0C603318E7031F15	4C3F5D93A5FDDE40D4
133	0123F51308ED13BD89	9E26CB9D9A3E3EA2D1	42D69E76942C4120AB	4534C87875BC345CCF
134	40C11D3828DE3F3D4C	BECB2D3F2A11F87396	5307F227375916FCF1	4EC1DD39A197DEE18A
135	3914EDA4347668AC8F	86E3CA7616F563656F	4BDD0B9D446DB4C4B0	47D5B72D8E29D4FA6E
136	693891DF48CFEC0F0F	ADFB39C572F150F16D	58B86099B77256E641	4C6A0F385A028B1274
137	10ED6142ABE7A4662C	95D3DE8DB1EA341F94	406299223BC6F4DE00	45619AD275BC9EF66F
138	511076978BD488E116	B53E387EFE3A12C92C	51B3F28C6733BCFDA5	4E8B77925E688BB4D5
139	28DA7E0A68FCDF772A	8D0920C9C2DE89D82A	4976F33614071EC21B	4780B27871D69E50CF
140	71E26864C47B51CFAE	A4F0AC2EA2B0A51289	5A46E7CDB31849BF1F	4C208F390E7DDE4D81
141	08379F07272CE65992	9CD84B6661D43E0470	429C1E763FD31478A1	452B1D2D21BC2BAE65
142	49CA8F2C071FD526A8	BC2A526B2E7BE72AC8	534D72266359A3A4FB	4EDE0F92F597DEECDF
143	3000804FE43782B76B	841D4D23ED609C3C31	4B978C63EFED019B45	47CA658725D634F73B
144	62CD83609CE406B2AA	AF4P3E91DD1BFAF039	58F2CDCC488D03B4E1	4C75DA6D0F283E4A74
145	1B1874037FCC612496	9767DE271E009E1EC0	402833883BB9E74A0	4561B078DF1634566F
146	5AE56429A0009DA453	B78A3F2BAE2F473078	51F9582798CCE9A8FA	4E94A2C6F4C221132A
147	233094B5BCA8D5CD90	8FA2DF9D6D3423D97E	493C6E621407B46F44	479F30D2DB7C2B0F31
148	7A088524EF0BB7514	A644AC840D5A0F13DD	5A0C4D67B318E315BF	4C3F5D93A4D774ED81
149	03DD7246F307131B28	9E6C4BCD31C16BFADB	42C94CDDC02C5ED5FE	4534CP878B16810E65
150	4220626DD3343F9C12	BE81AD3E7E6EB2D39C	5307DF739CA6E909A4	4EC1DD39A0C2944CDF
151	3BEEA6D0FCFE3880DD1	86A94A7742F5C9C29A	4BDD26C9EFEDB4C9E5	47CA4F2C70FC81AF3B
152	6BD9EE8AB35A0CAEB1	ADAE41C5D90E05A967	58A7B232E372491314	4C75F0C7A4D7C1B8DE
153	120C19E950725B388D	959959731A6A81479E	407D4B896FC6EB2B55	45619AD274E9CBA4C5
154	53EEF1C38FC1684048	B56B407E55C5586ED9	51B3D826CCB3A308F0	4E948F93A0C2211980

10

20

30

40

【表 1 E】

155	2A3B015F93693FD18B	8D5C5F3696A1C37FDF	49692662BF871EC8B1	479F1D867083D4FD9B
156	73031730C011516EF0	A4A5D3D1F6CFF04A83	5A46CA9918E7A9B24A	4C3F7738F0A88B1F2B
157	0AC91FACDCC6F90733	9C8D349935D494A385	4283CCDD6BD31475F4	452B1D2D20969EFB30
158	4B340F860375D58009	BC60D59585FB4D8AC2	634D588D3759A3AE51	4EC1F06D0B3D6BBE75
159	32FE071BE022621635	844832DCB96029643B	4B97A136BB92FE69EF	47D59D87248361A591
160	60667BCA3371534C01	AF1A6C3A22E4B05D66	58F2E7671DA7A914E1	35BFD2F112AAC376E2
161	19B38CA82FA6FB25C2	97328B72E1FFD4B460	4028192291130B2B5F	3CABB8E4C2EB369506
162	584E9C830P95C85D07	B7C09581AE50126527	51E68A8D32664308FA	375EAA5B16BF23D043
163	218493E0ECC27FCCC4	8FF78D376D4B697421	49238B374152FECF44	3E553FB1397EC9CBA7
164	78A37A71BFC5EE8C40	A611FE2E0D2545B97D	5A139832E64DA9B5BF	35F552F1B92A69D117
165	01697513A312591A7C	9E391966CE41C1507B	42C9667695790B8DFE	3CE13F1A696B9C350C
166	408B9AC77CDE959AB9	BED4F86A7E6E187EC3	5307F5D9360C5C565B	37142DA442C0768FB6
167	395E6DA560093DF37A	86FC18DD42F563683A	4BDD0B9D4538E191E5	3E1FBFB06D7E636C52
168	697211DE1CCF59501A	ADFB136FD90EB0FBC7	58B86767B658E3B4EB	35A0005BB955237BB7
169	10A7E143FFE70EC1D9	95CC0C26E595D412C1	40629EDDC513A18CAA	3CB48DB06914D69853
170	51450E96DFD422411C	B53E12D5AA45F2C386	51B3F28D999916570F	375E870E42C0DC22E9
171	288F01F4C37C6A28DF	8D16F59C96A169D280	49690CC8152DAB974E	3E4AEAE5928136390D
172	71A8E865907BE497A4	A4EF7E85F6CF451823	5A5918324DCD0315B5	35F5785B12AA7623BD
173	0862E0F8732C4CFE67	9CD861CD35D421F6DA	4283E677C106412A0B	3CE115B0C2EB83C059
174	499FF72D531F607EA2	BC2A7F3F858418D862	53528DD99D8CE909AE	370BF8F116BF96851C
175	3055F84F4FC8C8109E	841D678946E083C964	4B978B9C113854C9EF	3E006D1B39019C9907
176	6298FC9E371B53ED5F	AF4F143A891BE5056C	58F2CDCDB658491E4B	35A02AF0EC0069DC48
177	1B4D0BFC2BB31B8363	9767F48DB5FF7E146A	4037CB883AECEB260A	3CABB8E53C419C3853
178	5AAFE428P47FC8FBA6	B795ED8105D0A73AD2	51F9582666665CFA50	3741525AE815897AE9
179	2365EB4B17579F6D9A	8FA2F2C83948DC2BD4	4923A19DEAAD013DEE	3E55384EC7AB9C990D
180	7A4202DBBBAFF1D2E1	A65B7E2F5925EF1E88	5A13B2984DCDA9B8EA	35F552F04780DC8442
181	0397F5B9A778464322	9E6C669865BE940871	42C94B223EF90R8754	3CFEC0E4683ED69FA6
182	42751D928734953C18	BE9E7F952A1152DEC9	5318208C620C43A30E	37142A5A43EADC22E3
183	3BA0EAF09B9CC2ADDB	86A96723E975C9C830	4BDD21361147019CB0	3E00404E6C54D63EF8
184	6B8C968A18DAA60944	ADB1936E8D0E05A3CD	58B84DCD1DD8E3BE41	35BFFFA44780762EE2
185	12469E17FBF2F19F78	959973D84B157EB534	4062B3896E93BE7E00	3CAB924E68419C3506
186	53A471C32441DD1FBD	B57492D4FE3AA79B8C	51B3D826CD9909A25A	375E870E4395968FBC
187	2A6E795EC769957181	8D5C72623D21C37575	49692662BED254621B	3E5512E46C2B9C93A7
188	734990CF946E1BC905	A4A5FE855D30104029	5A46CA98E64D0318E0	35F5785B13FF2376E8
189	0A839FAD88B9AC5F39	9C92E63261D48B512F	429C34DD6AF9A1275E	3CFEEDB0C3BED692F3
190	4B617786A8F57F2003	BC60F8C0D1FB527F97	5352A772C98CF6FCFB	371400F1179523D049
191	32AB78E54BDD3749C0	8457E789ED1FD69691	4B885EC945384B3CBA	3E1F951AC7D4C9CBAD
192	602CD69E3371F9E6A1	AF1A416E884E050566	2138E805005AABD788	745D3D2432E60FF627
193	19F921FC2FA6518F62	9732A1D9B4D561EB9F	39FDEE408CEE09EFC9	7D56A8CFE2A7E5EDC3

10

20

30

40

【表 1 F】

194	581BCE290FEA9D0FA7	B7DF40D504FAA73D27	28337DEED01B41CB93	76A3BA71C90C0F5086
195	21CE3EB4ECC2CA999B	8FF7A79DC7E1DC2BDE	30F67C555CD003F42D	7FB7D79A194DE54B62
196	78F628DBBFC544211F	A60E2C85580FEF197D	23D990AF044F4B76D6	7408452566E6BAA9D2
197	013C2047A36D13B0DC	9E26CC339B6B6BF07B	3B036EEA8884094E97	7D03D730B6D8AF4A36
198	40C137937CA1DF3019	BED4D53F2B3B4D213C	2AD20544D4715E92CD	76E93D8F628CBA0F73
199	3914C70E9FF668A625	86E3CD8817A029C83A	321704FEA745E3528C	7FE2A864B2CD501368
200	6938BC8BE33013FABA	ADE4C1C573A405A438	21726FFA5425E17782	745D178E99660FFC8D
201	10F2B3E9FF985B9379	95CC2173B0BF7EB53E	39B76E4027115CB03C	7D497A64B6D805E769
202	51105BC3205488EC43	B521C780FF6F586479	2879FA118464149399	76BC68DB628C10A22C
203	28DA535F3C83208580	8D0927363C7423757F	30BCFC55F72F495427	7FA802CF4D320541C8
204	71E24531907B51C504	A4F0ABD15C1A0FBFDC	239310AE504FFE2923	7417978E32E6BAA378
205	0837B5AD8CACF9AB38	9CD84C9860FE8B5125	3B49E914237B43EE9D	7D1C059BE2A750BF63
206	49D55D87531FD52C02	BC35AD952F2EB27F9D	2A9885447F8E1432C7	76F6EF2436F35A05D9
207	301F551AB03782BA3E	8402B52213B5C96964	32427CHFF34549F579	7FFD7ACE194D4FE63D
208	62CDA9CBC89BE6B800	AF50C691DC4EAFA293	21273AAE545AB422DD	745D3D25CC335AA48D
209	1B185EA9D433AED1C3	9767DE26E0AA2B4B95	39FDC4EA276E161A9C	7D4957301C0D4F4769
210	5AE5497CF4009DAEF9	B795C72BAF05F2652D	283350BB841B41C139	76A3BD8FC826BA05D3
211	232F461F17572A38C5	8FA2D8636C1E89742B	30E9A901F75003F978	7FB7D06418675019C8
212	7A08A870442F5B7841	A644AC85F3F0BA4177	23C64205AFB0B4847C	7417BD24984C100378
213	03DD5F13A778ECEE7D	9E6C4C32CF6BDEA871	3B0343BFDCFBE943C2	7D1C28CF480DFA189C
214	422048C687343F96B8	BE81AAC07F440786C9	2ACDD7EF8071416067	76F6C58F63A60F5DD9
215	3BF5B85B646388077B	86A94D8943A09C97CF	32172E540CC5FCA026	7FE2AF9AB3E7FABE3D
216	6BC63BDFE725F35BE4	ADB1B9C5D85B4F03CD	216DBAAF0025E17AD7	7442E87167CCBAA9D8
217	120C34BDFB8DBB35D8	9586A1731B402BED34	39B743148CEEBBD69	7D56859B480D4F4DC3
218	53F12497244177B2E2	B574BF81AB6FED3B8C	2879D0BB2FE4149ECC	76A3972563A6BA0886
219	2A24D40B38E9202321	8D5C5F3697F489D28A	30A32FFEA32F56A68D	7FA805314C674FEB62
220	731CC59A6B915163A5	A4BA2C2FF7E55AF7D6	23933A04FBCFFE2476	7417907033CC0FF1D2
221	0AD6CAF87746E6F599	9C8D34993481DE0ED0	3B563BBE88FB43E3C8	7D1C059A1C721A15C9
222	4B3422D3570A358D5C	BC7P2D9584AE18DF97	2A98AFF2B8E0BC06D	76F6EF25C859EF508C
223	32E1D5B14BDD9DE360	844832DD47B57C316E	324251AB58BAA9F82C	7FE28531E7981AB497
224	60665161670EACBEAB	AF0593C423CB050833	2138E804FE8FFE8522	0D9732462E31A79FE4
225	19B3A1FC8426FB2F68	97328B731F2A9E1935	39FDEE417244BCBD63	049CA052018FB27BFF
226	58514E285B95C857AD	B7DF6D8050FAB8CF8D	282C82112ECE149939	0F764AE05D5A458C145
227	2184B94A47427FC66E	8FE875376C1E3C268B	30F67BAAA27AB6A687	067DDF07FA1A4D22A1
228	78BCAF261445EE86EA	A611FE2E0C7010EBD7	23C668AF051A01DC7C	0DDDB24685B112C011
229	01695FB908EDA6E8D6	9E39196730EB6BFAD1	3B036915762EBC1C3D	04D6205355F0F8DC0A
230	408BB06C28DE8A6813	BECB079580BB4D2C69	2ACDFABB2AA4143F98	0F3CCAED7E5B12614F
231	3941BF0FCBF6DDF9D0	86E3E0DD43DFC9C56F	3208FCFF5990B60026	063758F951E5187D54
232	69723C8AB730A6A54F	ADFB1491D82405AE92	216D97FBAAFOABDD28	0D88E0ED7A4E47954E

10

20

30

40

【表1G】

233	10B83416AB98EECB73	95D3F426E4BF614794	39A896402644161D69	049C8D07558FAD8955
234	514523C38BABBC24C49	B521ED2A5490B86ED3	2879PDEF853141C133	0F7667B881DBB8CC10
235	288F2B5F977C75DD8A	8D090D9C97F43C87D5	30BCFC510985FC068D	067DF252AE65B2D00B
236	71B73D313B84049AF1	A4F0817BF7E5F04D76	238CE8AE511AB48476	0DDD9F13D1CEF2CD44
237	0862CA52D8AC4CF332	9CD861CCC7E8B5B8F	3B5616EBDDAE16BBC8	04C9F507FE0F18D15F
238	49802587F8E09F8BF7	BC2A78C184AEAD8D37	2A9882BB815B41606D	0F231FB9D5A4F26BE5
239	3055D51A1BB737E234	84029876B835C96431	325D84FE0D901CA7D3	06288A5205E5078FFE
240	6298D6349C9B53E7F5	AF4F13C4884EAFA839	2138C551AA8FFE8F88	0D88CA47D09B0D32B1
241	1B52D9577FCCFB8E36	97780C8C4B55CB46C0	39E23B1426445CB7C9	04835FAC00DAE72955
242	5AB0317DA000370EF3	B795ED80FB05ED9787	283357447AB1F4946C	0F69B2EDD4F10D9410
243	2365C61E43579F60CF	8FBD0D37C7E1697E81	30F656FFF67AB6ABD2	06622707FB4F07880B
244	7A5DD070EFD011D84B	A64481D15870BA4C22	23D9BA045165E1D6D6	0DC24A4684E4479544
245	03882712F307A64988	9E6C616664EBDEA524	3B0343BFDDD143EE97	04D62052AB25AD895F
246	426AC8C7D3348AC94D	BE81806AD4BBE78B9C	2AD22FEF81240BCD32	0F3CCAED7F71B8CC1A
247	3BA0C7A5CF9CC2A08E	86A9672217DF636565	321729ABF26F49F28C	0628A0F950B052D7FE
248	6B8CBC20B35A9FC11	ADAE6C9173DB50F698	217245510170ABD07D	0D971F1284E4F2C7E4
249	1246B343500D0E6DD2	959974264F402BE79E	39B744EB723BF617C3	049C8D06AB5AE72400
250	53A45B698FBE3D1517	B56B6AD500900D3126	28662F452EB141CC66	0F699FB97F0EED9945
251	2A71AC0B9316757B2B	8D438A63C3F489DFDF	30BCD6FEA27A03F427	067DF5AD50B0E782A1
252	7349BA64C06E1BC3AF	A4A5F97B5C655AED7C	23933A04FA9AB48EDC	0DDD98EDD09BB86011
253	0A83B507234653AD93	9C92E1CD9F01DE047A	3B49C441762E094962	04C9F2F9FF5A4D840A
254	4B7EA2D3FCF57F2AA9	BC7F00C12F51E72D3D	2A98A8112ADB5E92C7	0F3CE7B9D48E47394F
255	32AB524FE022C8BC95	84481877EC357C3C3B	325DA9AAA6101CAD79	063775AC04CFB2DAAB
<i>Idx</i>	<i>S₄</i>	<i>S₅</i>	<i>S₆</i>	<i>S₇</i>
0	5A14D8A482010856BA	1BA4C164A10D9D9D17	D33CCD410969FC05F9	D03F61BB47E7B4CC59

10

20

30

【0043】

本発明では、計768個のセルIDが使用される場合を例示したが、使用されるセルIDの個数が768より小さいか大きい場合、前記表1に示したシーケンスの一部又は全体が使用されることはもちろんである。

【0044】

図9は、本発明の実施の形態に係るFFTのサイズ別にセルIDに対応するS-SCH信号のPAPRを示す図である。

【0045】

前記図9に示すように、横軸は、セルIDを構成するランニングインデックスIdxで、縦軸は、Idxに対応するS-SCH信号のPAPR値である。同じIdx値を有し、互いに異なるセグメントIDnを有する互いに異なる3個のセルIDに対応するS-SCH信号のPAPR値は同一である。512-FFTの場合、PAPRの最大値は、6.27dBで、1024-FFTの場合、PAPRの最大値は、6.74dBで、2048-FFTの場合、PAPRの最大値は、7.06dBである。このように、セルIDに対応するS-SCHシンボルが非常に低い値のPAPRを有するので、S-SCHシンボルを送信する際に効率的に送信電力をブースト(boosting)できる。

40

【0046】

上述した内容に基づいた本発明の具体的な動作を述べる。

【0047】

図10は、本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにお

50

けるS-SCHを送信するための送信機の構成を示すブロック図である。

【0048】

図示のように、送信機は、シーケンス発生器1000、変調器1002、副搬送波マッパー1004、IFFT(Inverse Fast Fourier Transform)演算器1006、CP(Cyclic Prefix)追加器1008、DAC(Digital to Analog Converter)1010、RF(Radio Frequency)送信機1012を備えて構成される。

【0049】

前記図10に示すように、まずシーケンス発生器1000は、上位制御機(図示せず)からのセルIDに応じるシーケンスを発生する。このとき、前記シーケンス発生器1000は、前記表1のようなメモリテーブルを具備し、入力されるセルIDに応じるシーケンスを前記メモリテーブルから獲得して出力できる。他の例として、前記シーケンス発生器1000は、基地局に該当するセルIDに応じるシーケンスのみを格納しており、上位制御機(図示せず)の制御下に前記格納されたシーケンスを発生できる。
10

【0050】

変調器1002は、前記シーケンス発生器1000からのシーケンスを決まった変調方式に従って変調(modulation)して出力する。例えば、前記変調器1002は、前記シーケンスをパワーブーストされたBPSK(Binary Phase Shift Keying)信号に変調して出力する。

【0051】

副搬送波マッパー1004は、前記変調器1002からの変調されたシーケンスをセグメントIDに対応する副搬送波集合の副搬送波にマッピングする。例えば、副搬送波集合は、FFTのサイズとセグメントIDに応じて、上述した図5、図6又は図7のように構成ができる。
20

【0052】

IFFT演算器1006は、前記副搬送波マッパー1004により副搬送波マッピングされた信号をIFFT演算して、時間領域のサンプルデータを出力する。CP追加器1008は、前記IFFT演算器1006からのサンプルデータに保護区間(例:CP)を追加して、S-SCH信号(又はS-SCHシンボル)を発生する。ここで、前記IFFT演算器1006とCP追加器1008とは、一つのOFDM変調器として構成ができる。
30

【0053】

DAC1010は、前記CP追加器1008からのS-SCHシンボルをアナログ信号に変換して出力する。RF送信機1012は、前記DAC1010からのベースバンドアナログ信号をRF信号に変換してアンテナを介して送信する。

【0054】

一方、端末は、基地局から受信されたS-SCH信号を利用してセルIDを獲得する。このとき、端末は、セグメント別に受信電力を測定してセグメントIDを獲得し、前記獲得したセグメントIDに対応する副搬送波集合の受信信号から周波数領域でのシーケンス検出を介してランニングインデックスIndexを獲得できる。
40

【0055】

図11は、本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHを受信するための受信機の構成を示すブロック図である。

【0056】

図示のように、受信機は、RF(Radio Frequency)受信機1100、ADC(Analog to Digital Converter)1102、CP(Cyclic Prefix)除去器1104、FFT(Fast Fourier Transform)演算器1106、副搬送波抽出器1108、復調器1110、シーケンス復調器1112を備えて構成される。

【0057】

10

20

30

40

50

前記図11に示すように、まずRF受信機1100は、アンテナから受信されたRF信号をベースバンドアナログ信号に変換して出力する。ADC1102は、前記RF受信機1100からのベースバンドアナログ信号をサンプリングしてデジタル信号に変換する。

【0058】

次に、CP除去器1104は、前記ADC1102からの信号に挿入された保護区間を除去する。次に、FFT演算器1106は、前記CP除去器1104により保護区間が除去された信号に対してFFT演算を行うことによって、時間領域の信号から周波数領域の信号を出力する。ここで、前記CP除去器1104とFFT演算器1106とは、一つのOFDM復調器として構成されることができる。

【0059】

副搬送波抽出器1108は、まずセグメント別に受信電力を測定してセグメントIDを獲得し、前記FFT演算器1106からの周波数領域の信号から前記獲得したセグメントIDに対応する副搬送波集合の信号のみを抽出する。

【0060】

復調器1110は、前記副搬送波抽出器1108により抽出された副搬送波集合の信号を前記変調器1002で使用された変調方法に対応する方法で復調する。

【0061】

シーケンス復調器1112は、前記表1と同一なメモリテーブルを具備し、前記復調器1110の復調により検出されたシーケンスとメモリテーブルのすべてのシーケンスとの相関値を計算し、最も大きな相関値を有するシーケンスに該当するランニングインデックス $I_{d,x}$ を決定する。また、前記シーケンス復調器1112は、既に獲得したセグメントIDと前記相関値計算により決定された $I_{d,x}$ から前記式2により計算されたセルIDとを出力する。

【0062】

図12は、本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHを送信するための手順を示すフローチャートである。

【0063】

図12に示すように、まず送信機（基地局）は、ステップ1201にて自分に該当するセルIDに応じるシーケンスを発生する。このとき、送信機は、FFTのサイズと前記表1に基づいてシーケンスを発生する。

【0064】

以後、前記送信機は、ステップ1203にて前記シーケンスを変調する。例えば、前記送信機は、前記シーケンスをパワーブーストされたBPSK信号に変調できる。

【0065】

そして、前記送信機は、ステップ1205にて前記変調されたシーケンスを前記セルIDのセグメントIDに対応する副搬送波集合の副搬送波にマッピングする。このとき、FFTのサイズとセグメントIDに応じて、前記副搬送波集合は、上述した図5、図6又は図7のように構成されることができる。

【0066】

以後、前記送信機は、ステップ1207にて副搬送波マッピングされたシーケンスをOFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)変調して、S-SCH信号(S-SCHシンボル)を発生する。ここで、前記OFDM変調は、IFFT(Inverse Fast Fourier Transform)演算、CP(Cyclic Prefix)追加などを含む意味である。

【0067】

そして、前記送信機は、ステップ1209にて前記発生されたS-SCH信号をRF処理して端末に送信する。このとき、前記S-SCH信号は、フレーム内の最前のサブフレームで送信されることができ、決まった時間間隔で送信されることができる。

【0068】

以後、前記送信機は、本発明に係るアルゴリズムを終了する。

10

20

30

40

50

【0069】

図13は、本発明の実施の形態に係るIEEE 802.16m無線通信システムにおけるS-SCHを受信するための手順を示すフローチャートである。

【0070】

図13に示すように、まず受信機（端末）は、ステップ1301にて基地局からS-SCH信号を受信する。このとき、前記S-SCH信号は、フレーム内の最前のサブフレームで受信されることができ、決まった時間間隔で受信されることができる。

【0071】

以後、前記受信機は、ステップ1303にて前記受信されたS-SCH信号をOFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing) 復調する。ここで、前記OFDM復調は、CP除去、FFT (Fast Fourier Transform) 演算などを含む意味である。
10

【0072】

そして、前記受信機は、ステップ1305にてセグメント別に受信電力を測定してセグメントIDを獲得し、前記OFDM復調された信号から前記獲得したセグメントIDに対応する副搬送波集合の信号のみを抽出する。

【0073】

以後、前記受信機は、ステップ1307にて前記抽出された副搬送波集合の信号を基地局で使用された変調方法に対応する方法で復調してシーケンスを検出する。
20

【0074】

そして、前記受信機は、ステップ1309にて前記復調により検出されたシーケンスとメモリテーブルのすべてのシーケンスとの相関値を計算し、最も大きな相関値を有するシーケンスに該当するランニングインデックス Id_x を決定する。

【0075】

以後、前記受信機は、ステップ1311にて既に獲得したセグメントIDと前記相関値計算により決定された Id_x を利用して、前記式2のようにセルIDを計算する。

【0076】

以後、前記受信機は、本発明に係るアルゴリズムを終了する。

【0077】

上述したように、本発明は、IEEE 802.16m無線通信システムにおけるセルID (ID cell) 区分が可能なS-SCHを提案する。本発明に係る副同期チャネルは、多様なFFTのサイズに対してスケーラブル (scalable) な特徴を有するシーケンスから構成されるから、それぞれ異なる帯域幅を支援する多様な端末を支援できるという利点がある。また、多くの数のセルIDを支援することによって、フェムトセルを効果的に支援できるという長所がある。
30

【0078】

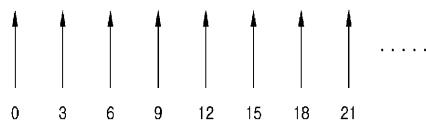
一方、本発明の詳細な説明では具体的な実施の形態について説明したが、本発明の範囲から逸脱しない範囲内で多様な変形が可能であることは勿論である。したがって、本発明の範囲は、上述の実施の形態に限定されず、特許請求の範囲だけでなく、特許請求の範囲と均等なものによって決まらねばならない。
40

【符号の説明】**【0079】**

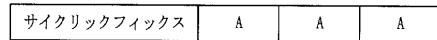
- 1000 シーケンス発生器
- 1002 变調器
- 1004 副搬送波マッパー
- 1006 IFFT演算器
- 1008 CP追加器
- 1010 DAC
- 1012 RF送信機

【図1】

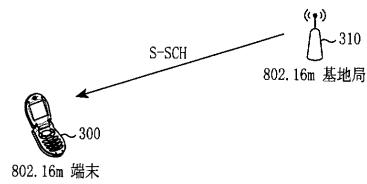
[Fig. 1]



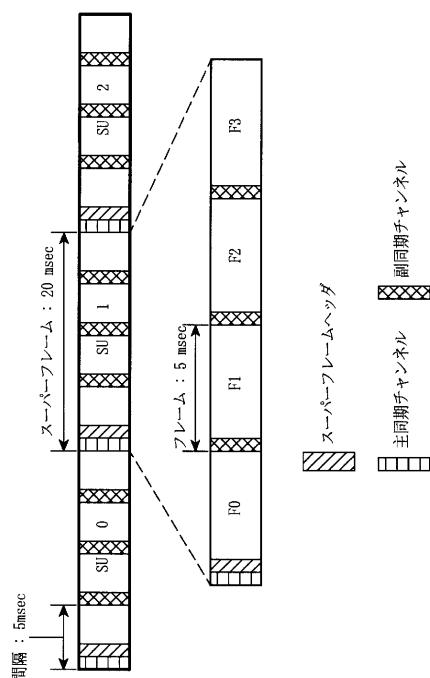
【図2】



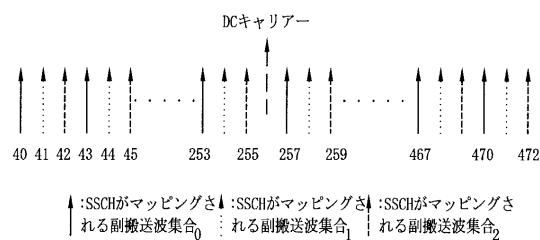
【図3】



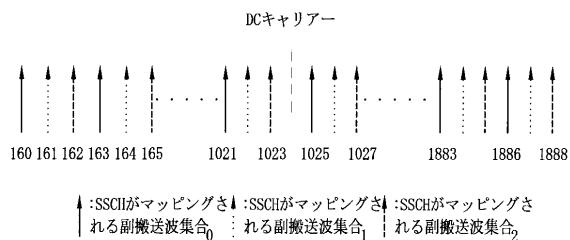
【図4】



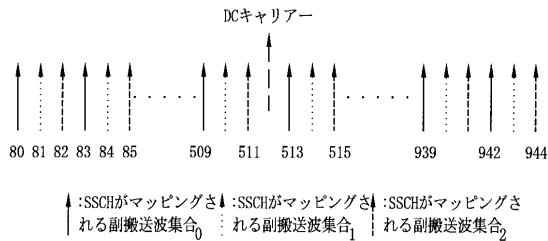
【図5】



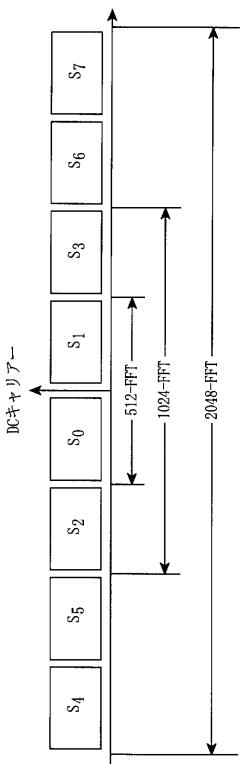
【図7】



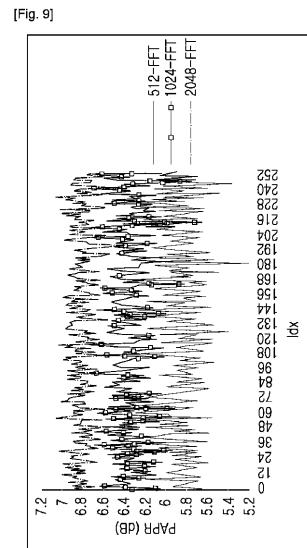
【図6】



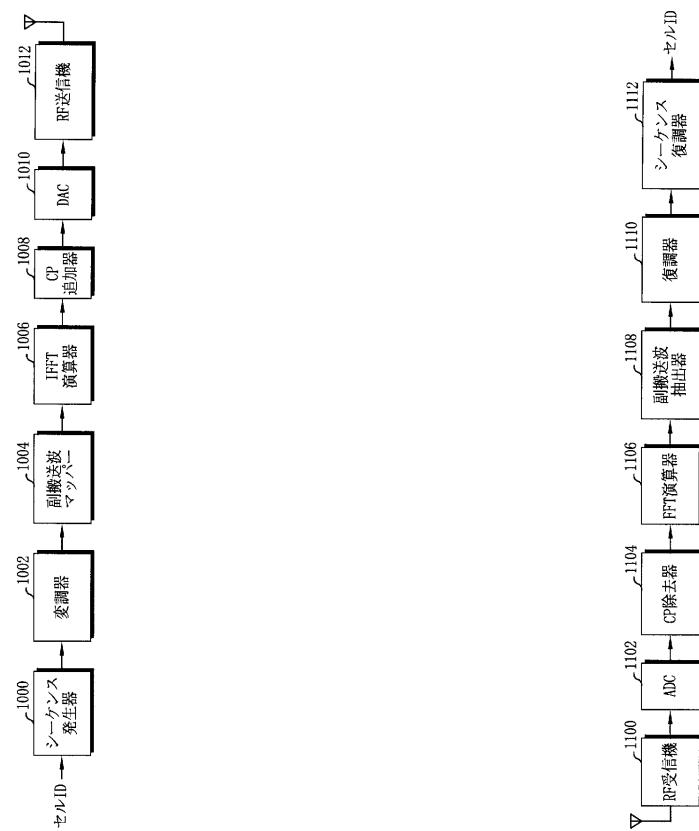
【図8】



【図9】



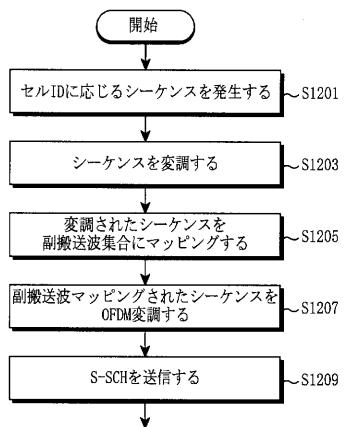
【図10】



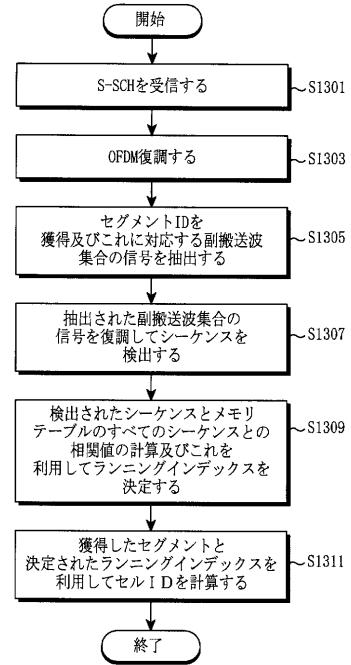
【図11】



【図12】



【図13】



フロントページの続き

(72)発明者 ジエ - ウォン・チョ
大韓民国・キヨンギ - ド・ソンナム - シ・ブンダン - グ・ブンダン - ドン・(番地なし)・セトビ
ヨル・マウル・ライフ・アパート・#110-702

(72)発明者 スン - フン・チェ
大韓民国・キヨンギ - ド・スウォン - シ・ヨントン - グ・ウォンチョン - ドン・(番地なし)・ウ
オンチョン・ジュゴン・2・ダンジ・アパート・#213-1702

(72)発明者 チ - ウ・リム
大韓民国・キヨンギ - ド・スウォン - シ・ヨントン - グ・ヨントン・1 - ドン・(番地なし)・チ
ョンミョン・マウル・4・ダンジ・アパート・#426-303

(72)発明者 ソン - ナム・ホン
大韓民国・キヨンギ - ド・スウォン - シ・パルダル - グ・ファソ - ドン・(番地なし)・ファソ・
ジュゴン・4・ダンジ・アパート・#410-1006

審査官 佐々木 洋

(56)参考文献 特開2008-236744(JP,A)
特表2011-523805(JP,A)
特表2011-514050(JP,A)
特表2011-509597(JP,A)
特表2008-508803(JP,A)
国際公開第2006/000091(WO,A1)
国際公開第2005/125250(WO,A1)
特表2010-509857(JP,A)
Zheng Yan-Xiu et al., 'Proposed Text of Advanced Preamble for the IEEE 802.16m Amendment', IEEE C80216m-09/1134, 2009年 5月 1日, pp. 1-27, URL, http://www.ieee802.org/16/tgm/contrib/C80216m-09_1134.doc

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

H04J 11/00